

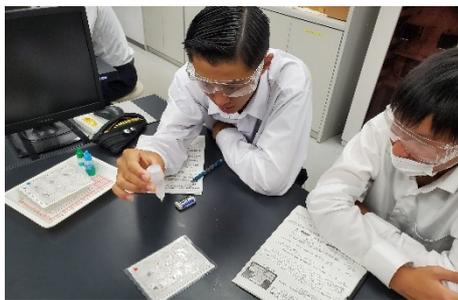
# ステップアップ

仙台市立錦ヶ丘中学校  
第2学年だより 第4号  
発行：令和6年6月3日  
文責：鈴木 修一郎

## 科学館学習に行ってきました

5月30日（木）に科学館学習を行いました。昨年度は天文台学習を行いました。仙台市にある施設を利用して科学への興味・関心を高め、理科教育を推進するものです。

当日は、実験学習と展示学習に分かれ、学習を進めました。先日リニューアルをしたばかりの科学館はとてもきれいで、



展示学習では宮城の自然の展示や、風でボールを浮かせるコアングダ効果の装置、てこの原理を体感する装置など大変楽しめるものでした。特に、電気を発生させる自転車や、香料を作る香ファクトリーは大人気でした。一方、実験学習では物理（光の進み方）、化学（電池の仕組み）、生物（キノコの世界）、



地学（仙台の大地）に分かれて、実験や観察を行いました。少々難しい場面もありましたが、どの実験室でも、積極的に発表をする姿や、実験に真剣に取り組んでいる様子が見られました。科学館の先生からは、「2年生の初めなのに、しっかり実験できているね」との感想をいただきました。

## 錦オール(NISHIKI ALL IN ONE DAY)とは

### 1 服装自由の日（制服でも私服でも可 ※教職員も）

- 互いの個性を認め合う日 ●自己を見つめ、他を受容する日
- 自己決定力の向上、自己責任、自立、自律に向けて ●制服の意味を考える
- 生徒理解の促進

### 2 道徳の日

- 「共に生きるを考える日」 ●3つの心を考え、行動する日
- 命を大切にす日 ●仲間を考え、思いやる日 ●家族を考え、思いやる日
- 「ありがとう」をいっぱい言う日 ●感謝の気持ちを伝える日 ●自死予防教育推進の日

### 3 共に生きる「ともいき」ミニッツ

- この日の朝学習 15分を「共に生きる」を考える時間とする
- NIE等を活用し、テーマに沿って作文を書く（ミニ道徳的要素）

### 4 いじめゼロの日

- 「いじめゼロの日」として明確に意識化 ●桜花宣言（生徒会行動指針）の周知と定着
- 生徒会、学年委員会、学級での独自の主体的な取り組み

錦ヶ丘中学校の特徴である、錦オール。「服装自由」が注目されがちですが、錦中独自の取組が様々あります。ともいきミニッツでは、新聞記事や本、著名人の言葉などを通して、生徒一人一人が社会の一員として「共に生きる」ことについて考える時間としています。また、全校一斉に道徳の授業時間を設定しています。生徒たちはともいきミニッツでも道徳の授業でも、真剣に考えています。私たち教員も生徒の考えに感心させられたり驚かされたりすることも多々あります。

校則の見直し、服装自由の日、桜花祭の生徒会行事化など、生徒の手に委ねられることが多いのも錦ヶ丘中学校の特徴と言えます。自分たちが決めるということはその責任も大きいものです。「何をやってもいい」というわけではありません。集団生活で互いが気持ちよく過ごすことができるためには何が必要なのかをしっかりと考えられるようになってほしいと思います。

